

	生徒	保護者	教職員
1	学校に行くのが楽しいですか。	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。	
2	授業中や行事の中で、自分で決める機会が増えていきますか。	お子さんは、生活の中で、自分で決める機会が増えていきますか。	生徒が自己決定する機会をつくっている。
3	先生は、相談に乗ってくれたり、授業やテストで分からないところを教えてくださいませんか。		生徒に寄り添い、生徒の学びを支援する伴走者であることに心掛けている。
4	自分にはよいところがあると思いますか。		生徒のよさを伸ばす場面をつくっている。
5	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。		生徒の自己有用感（人の役に立っている）を醸成する場面をつくっている。
6	家庭での学習習慣は身に付いていると思いますか。	お子さんは、家庭での学習習慣が身に付いていますか。	
7	学校の授業はよく分かりますか。	学校は、学習内容の定着を目指し、分かりやすい授業に取り組んでいますか。	学習内容の定着を目指し、分かりやすい授業づくりに努めている。
8	タブレット端末を積極的に活用していますか。	お子さんは、タブレット端末を、家庭で活用できていますか。	生徒がタブレット端末を活用する機会をつくっている。
9	積極的に挙手や発言をするなどして、意欲的に授業に取り組んでいますか。		
10	授業では、学習のねらいが分かり、振り返りを行うことができますか。		授業では、学習のねらいを明確にし、振り返りの時間を確保している。
11	学校のルールやマナーを守っていますか。	お子さんは、学校のルールやマナーを守っていますか。	生徒は学校のルールやマナーを守っている。
12	登下校や授業、部活動等で、進んで明るい挨拶ができていますか。	お子さんは、明るく気持ちの良い挨拶ができていますか。	生徒は明るく気持ちの良い挨拶ができています。
13	運動や部活動を通して、体力やマナーなどが身に付きましたか。	お子さんは、部活動や運動を通して、体力やマナーなどの向上が図られていますか。	運動や部活動を通して、体力やマナーなどの向上に努めている。
14	生徒会行事や学校行事に自主的に取り組んでいますか。		創造的な生徒会活動や学校行事の充実が図られている。
15	早寝、早起き、食事など規則正しく生活ができていますか。	お子さんは、早寝早起きなど規則正しく生活ができていますか。	
16	テレビやゲーム、インターネット、メール、SNSなど、ルールを決めて使っていますか。	お子さんは、テレビやゲーム、SNSやインターネットなど、ルールを守って使っていますか。	学校全体で、デジタル・シティズンシップ教育の実践に取り組んでいる。
17		ホームページや学校からの通信で学校の様子が分かりますか。	ホームページや通信などを通じて情報発信を行っている。
18	友達には思いやりの心をもって接し、協力して活動していますか。	学校は、人権を尊重し「認め合い支え合う集団」づくりに取り組んでいると思いますか。	人権を尊重し、「認め合い支え合う」集団づくりに取り組んでいる。
19	学校の授業や行事で、地域の方々と活動したり、交流したりする機会がありましたか。	学校は、地域の方々の協力を得て、教育活動を進めようとしていますか。	地域の方々の協力を得て、教育活動を進めようとしている。
20		学校は、保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい雰囲気がありますか。	保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。
21			仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないように意識改革に努めている。

生徒		保護者		教職員		考察	生徒		保護者		教職員	
平均	肯定率	平均	肯定率	平均	肯定率	考察	平均	肯定率	平均	肯定率	平均	肯定率
3.4	85.7%	3.3	85.7%			平均値は上がっている（特に1年生で4評価が増）が、肯定率は低下（2名が2評価へ）。他とのギャップを感じている、または一時的な不安を抱えている可能性があると推測される。「誰一人取り残さない」を徹底する。保護者も平均値上昇。	3.3	95.2%	3.0	85.7%	*	*
3.6	90.5%	3.4	100.0%	3.2	100.0%	三者とも高い肯定率だが、2評価2名に増。	3.6	100.0%	3.2	95.2%	3.0	90.0%
3.7	95.2%			3.4	100.0%	引き続き、高い肯定率と平均値。1名のみ2評価。安心感を与えられる存在であるために、寄り添う姿勢を今後も大切にしたい。	3.8	100.0%	*	*	3.3	100.0%
3.2	81.0%			3.1	88.9%	肯定率上昇。諸行事・体験活動等において、友人と協力したり、自己の責任を果たしたりする中で、自己肯定感の高まりがあったものとする。	2.9	71.4%	*	*	3.1	100.0%
3.9	100.0%			3.0	77.8%	項目4同様、体験的な活動の成果であると考え。教職員の「まだできることがある」という意識を大切にしたい。	3.6	95.2%	*	*	3.1	90.0%
3.3	85.7%	3.0	71.4%			生徒と保護者の間に意識の大きな開きあり。	2.9	72.2%	2.9	81.0%	*	*
3.4	90.5%	3.2	100.0%	3.0	77.8%	生徒・保護者ともに平均値は大きな変化はないが、保護者肯定率の大幅な上昇は教職員の自信となる。教職員の厳しい自己評価を今後につなげたい。	3.4	95.2%	3.1	80.0%	3.1	100.0%
3.7	95.2%	3.2	85.7%	2.8	44.4%	2学期途中に端末機種変更。学校の指示による家庭での使用場面に大きな変化はなかったが、保護者の肯定率は大幅に上昇。情報教育推進校として今後の生徒の学びの質の向上のための活用に努めたい。	3.6	100.0%	3.0	65.0%	3.3	90.0%
3.4	95.2%					高い肯定率・平均値をキープ。授業のみならず集会活動等においても積極的な発言は多い。発言の質が更に高まるよう支援を継続したい。	3.4	95.2%	*	*	*	*
3.0	76.2%			3.0	77.8%	意図的、継続的な「振り返り」の場の設定により、少しずつではあるが生徒の肯定率は着実に向上。	3.0	71.4%	*	*	3.2	90.0%
3.8	100.0%	3.5	95.2%	3.0	88.9%	大きな問題行動等は全く見られない。生徒・保護者ともに高い肯定率・平均値である。	3.6	95.2%	3.2	90.5%	2.8	80.0%
3.5	90.5%	3.4	90.5%	2.1	22.2%	生徒・保護者ともに、平均値は更に上昇したが、教職員の意識との差はかなり大きい。	3.3	90.5%	3.2	90.5%	2.4	50.0%
3.9	100.0%	3.5	95.2%	3.1	88.9%	生徒・保護者ともに、高い数値を示した。	3.7	100.0%	3.2	90.5%	3.1	88.9%
3.6	90.5%			3.0	88.9%	今後とも生徒の自主性・主体性を尊重し、じっくりと待つ姿勢を大切にしたい。	3.6	95.2%	*	*	3.1	100.0%
3.2	76.2%	2.8	71.4%			生徒・保護者ともに数値下降。意識は一致。気候の変化や疲れだけでなく、中だるみも要因と考えられる。健康の基盤としての啓発を継続したい。	3.4	85.7%	3.0	85.7%	*	*
3.4	95.2%	2.5	57.1%	3.4	100.0%	前期同様、保護者の肯定率・平均値ともに前項木柱で最も低い。大幅に向上した生徒の数値との大きな差について検証の必要あり。	3.2	71.4%	2.6	61.9%	3.0	90.0%
		3.5	100.0%	3.9	100.0%	2学期もホームページほぼ毎日更新、学年通信も毎週発行。保護者肯定率100%は大変喜ばしい。	*	*	3.3	95.2%	3.8	100.0%
3.7	95.2%	3.4	100.0%	3.0	55.6%	前期同様、生徒・保護者共に高い数値をキープ。教職員の高い意識を大切にして、今後も地道な取組を継続したい。	3.7	95.2%	3.3	100.0%	2.9	90.0%
3.4	90.5%	3.4	100.0%	3.6	100.0%	生徒の肯定率は下降したが三者とも高評価。感謝の念、地域を愛する心、地域貢献への意欲へとつなげたい。	3.4	95.2%	3.4	100.0%	3.6	100.0%
		3.4	100.0%	3.6	100.0%	保護者肯定率100%は非常に喜ばしい。平均値の更なる上昇を目安として、今後とも信頼関係・協働の意識の深化に努めたい。	*	*	3.3	90.5%	3.3	100.0%
				2.9	77.8%	時間そのものにとらわれ過ぎてしまうことなく、「やりがい・働きがい」を大切にしながら心身の健康のためのワークライフマネジメントに努めたい。	*	*	*	*	3.0	80.0%